



# 神奈川県東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2017-2018年度 第21週報 No. 2004 2017年(平成29年) 12月15日 第2004回 例会記録 12月23日発行

### 本日〈12月23日〉のプログラム

## 年忘れ家族会

〈〈本日のBGM〉〉  
アルバム「スクリーンミュージック」より



PHOTO クラブ会報委員会

**司 会** 金森 欣一 副幹事

**点 鐘** 河野 明光 副会長

### 斉 唱

「それこそロータリー」「友達になろう」  
ソングリーダー：加野 亮一 会員

**四つのテスト** 赤堀 和人 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 内澤将太郎 様 (ゲストスピーカー)

**ビジター紹介**

神奈川RC	石川 修一 様
神奈川RC	田村 守 様
横浜ベイRC	前田 平俊 様
横浜ベイRC	生駒 寅男 様
横浜ベイRC	齊藤 泰司 様
横浜ベイRC	高橋健一郎 様
横浜ベイRC	山本 悦子 様

**会長報告** 河野 明光 副会長

～訃報～

岩澤利雄会員の奥様(百代)様(享年83歳)が、平成29年12月10日にご逝去なさいました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

・12月度定例理事会報告

2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー



ロータリー：  
変化をもたらす

第2590地区 ガバナー 湯川 孝則

会 長	矢野 修二	会 計	白井 康夫
会長エレクト	天野 公史	副 会 計	飯田 泰之
副 会 長	田中 龍太郎	S A A	茂木 知子
副 会 長	河野 明光	副 S A A	加藤 仁昭
幹 事	白鳥 厚夫	副 S A A	森 永 健
副 幹 事	金森 欣一	クラブ会報	長井 章

**例会日** 毎週金曜日 0:30～1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** [kerc@beach.ocn.ne.jp](mailto:kerc@beach.ocn.ne.jp)

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和51年5月29日

## 幹事報告

白鳥 厚夫 幹事

・次週22日は23日(土)年忘れ家族会に移動例会となりますので、お間違えのないようお願い致します。また、12月29日、1月5日は休会となり、新年最初の例会は1月12日になります。

## 出席報告

吉田 隆男 出席委員

会員総数	51名	(33+18)名	
出席会員数	31名	(21+10)名	
出席率	72.09%		
ゲスト	1名	ビジター	7名
前回補正後	91.67%	前々回補正後	89.13%

## スマイルボックス

茂木 知子 SAA

神奈川RC 石川修一様 1月22日の合同賀詞交歓会の打合せで来ました。お世話になります。

神奈川RC 田村 守様 本日、お世話になります。

横浜ベイRC 前田平俊様、生駒寅男様、齋藤泰司様、高橋健一郎、山本悦子様 本日はメイクアップツアーで5名で参りました。よろしくお願い致します。

富居利貞君 ご無沙汰しております。

石川正三君 赤堀さん、職業奉仕の見学会、ご苦労様でした。お蔭様で見られないものを見ることが出来ました。ありがとうございました。

山本 登君 寒いねー！

江森国一君 先日の忘年コンペでは、幹事の田中さんはじめ、皆様お世話になりました。

山田正憲君 ①職場訪問参加の皆様、お疲れ様でした。②岩澤様の奥様のご冥福をお祈りします。

白鳥厚夫君 ①神奈川RC 石川会長、田村幹事、ようこそいらっしゃいました。②横浜ベイRC 前田会長、生駒幹事、齋藤様、高橋様、山本様、ようこそいらっしゃいました。③忘年コンペに参加の皆様、お疲れ様でした。④内澤様、本日の卓話、よろしくお願い致します。

天野公史君 ①先日のゴルフ同好会に出席の皆さん、お世話になりました。駆け抜けるような一日でした。②優良職場訪問 赤堀委員長、ありがとうございました。勉強になりました。

赤堀和人君 先日の優良職場訪問、お疲れ様でした。日程が二転三転して大変すみませんでした。

加野亮一君 官邸、国会訪問、とても良かったです。ありがとうございました。

古澤一憲君 ①内澤様、本日の卓話、楽しみにしていました。よろしくお願い致します。②赤堀さん、先日の優良職場訪問お疲れ様でした。労せずして大臣の椅子に座ることが出来ました。

茂木知子さん ~ウソでもうれしい~インフルエンザのワクチン接種に行ってきました。精算の時、「すみません、お若く見

えたので、高齢者と思いませんでした。高齢者の方は割引があるのでこちらの問診票に記入して下さい。」と言われました。内心、ウソでもうれしいと思いました。家で、この自慢話をしても馬鹿にされるのでここで自慢しておきます。

12月15日	13件	29,500円
本年度累計		935,388円

## 石油業界概論

JX TGエネルギー(株) 中央技術研究所 燃料研究所  
プロセス触媒 グループリーダー 内澤将太郎 様  
(紹介者 古澤 一憲 会員)



### 概要

2014年に1バレル当たり100ドルを超えていた原油価格が何の前触れもなくあっという間に半年間で4分の1の26ドル台まで落ち込みました。多くのアナリストが当時適正価格は100ドル前後と想定していたにも関わらずです。世界金融危機の当時と違い、この際は石油需要が大きく落ち込んだわけではありません。米国におけるシェールオイル生産の増加や、イランの石油禁輸措置緩和、中国の経済伸び率減などで需給バランスがわずかに緩和したことによって大きく価格が変わってしまったのです。いわゆるコモディティと呼ばれる石油は、わずかな需給バランスの変化が価格に大きな影響を与えるようです。

石油を掘り出すコストはその地域によってさまざまです。サウジアラビアやアラブ首長国連邦などはオイルを生産するコストは10-20ドル前後と言われており、今の水準で十分利益を得ることができます。ただし、数年前と比較して利益水準は飛躍的に下落しており、サウジで混乱が生じるのも当然と言えるかもしれません。米国シェールオイル業界がオイルを生産するコストは50-60ドル前後と言われており、今の石油価格とほぼ同等です。このプレーヤーが限界供給者として需給バランスを構築していると言われていています。彼らはほとんど利益のでない水準で、キャッシュを生み出すために生産を維持しているようです。

一方、南米ベネズエラなどは石油の価格が80ドルないと採算が取れないと言われており、今供給すると赤字となります。

株価と違って石油は現物であり、本来は製造物として価格が決まるのが筋なのですが、実際はそうっておらず、各国製造者やトレーダーの思惑が入り乱れる中で、今の価格が決まっているようです。

これからの石油価格に大きな影響を与える因子として地球温暖化対策があります。昨年、COP21においてパリ協定が制定されました。温暖化対策は対応を誤ると我々の日常生活に深刻な影響を与えるとされていますが、通常生活が可能な地球温暖化レベルまで二酸化炭素排出を下げようとする、化石燃料に大きな税金が課される日も遠くないかもしれません。アメリカの不動産王兼大統領が二酸化炭素対策に非常に後ろ向きな態度を示しておりますが、おそらくアメリカが4年間参加しなくてもこの流れは変えようもありません。ただ、世界の石油需要はGDPと正の相関をもっており、エネルギー消費を減らすことにごくまで産業界が抵抗するかは見ものです。

さて、我々の暮らしに大きな影響を与えている石油ですが、一言で石油といっても、実は思いのほか多くの製品を生み出しております。輸入された石油は国内の製油所で蒸留精製されて、LPガス、ガソリン、軽油、灯油、重油やアスファルトなど石油系燃料に加工されるほか、ポリエチレンやポリエステルなどの化学品や各種潤滑油が製造されていきます。上記表現からわかるように、ガスもガソリンも灯油も大きな差はありません。ごくわずかに分子の大きさが違うだけで、気体となってガスエネルギーとなっていたり、液体燃料として使われているわけです。油田とガス田は実は大きな差はなく、入っている炭化水素の重さが少し違うだけなのです。そのわずかな違いしかない物質をきれいにかつ安価に分離して燃料や化学品を製造するのが日本の石油会社の仕事になります。

日本の石油会社は国内の年率1%を上回る水準の需要減退をうけて、合従連合を余儀なくされております。ほんの20年前には山のように存在した石油会社は昭和シェルと出光の合併を含めると大手では3社になりました。経産省からの方針により、半ば強制的に生産量減が進められている状況です。今回の合併でひと段落はついたので、次に始まるのは製油所の閉鎖だと言われています。どこの製油所が次に閉鎖されるかは大変な注目ごとです。

石油業界の研究所では、石油をきれいに分離精製する技術や新たな潤滑油の開発のほか、水素やバイオエタノールなどの新規エネルギーなどの研究を進めております。

## ロータリーニュース

### 平和の「概念」を「現実」に 国連でのロータリーデー：平和を現実になろう

第1次世界大戦終結99周年を記念し、スイス・ジュネーブの国連事務局で、「ロータリーデー」が開催され、1,200以上が集まりました。11月11日（土）、87カ国の代表者が元国際連盟のパレ・デ・ナシオンに集結し、イアン H.S. ライズリー R I 会長が以下のテーマを提唱しました。

「平和：変化をもたらす (Peace: Making a Difference) 」。 「国際理解、親善、そして平和は、兼ねてからのロータリーの第一目標」と話すライズリー氏。「ロータリーの奉仕活動はすべて平和構築につながることで、そして平和構築のために奉仕を行うことは、私たち皆がすでに認識していることです」

今回、これまでの13年間で初めて、「ロータリーデー」の行事がニューヨーク以外で開催されることとなりました。

ジュネーブ平和週間の最後の日を「ロータリーデー」となり、ロータリーのジョン・ヒューコ事務総長は、「ロータリーと国連の長年にわたる協力関係と、平和と国際理解の追求」を言明しました。「ロータリー会員は、奉仕を通じて、平和を概念から現実に行う」と、エド・フタ氏（国連に対するロータリー代表）は述べました。「平和は概念として説くものではなく、実現すべきものです」

イベントのハイライトとして、ジョン・ヒューコ事務総長が、2017年の「世界を変える行動人：平和の推進者」(People of Action: Champion of Peace) を発表し、「組織の活動の範囲・影響力」を称え、「より平和的な、より活力のある社会になるための道しるべ」を記したことを称えました。その後、受賞された6人は、持続可能性と平和についてのワークショップや、ロータリーアクト会員などのヤングリーダーのための特別セッションで、平和構築における教育・科学の重要性にスポットライトを当てたワークショップに参加しました。

世界保健機関 (WHO) のポリオ撲滅ディレクターであるマイケル・ザフラン氏は、ポリオ撲滅活動の最新情報を発表。ロータリー、WHO、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、その他パートナー団体による活動により、ポリオ発症数は99%減少し、目覚ましい進歩を遂げています。「ポリオ撲滅を実現するこの国際関係があれば、世界平和を達成できるでしょう」

在ジュネーブ国際機関の日本政府代表部大使代表代理、および世界ポリオ撲滅推進活動のポリオパートナーグループ議長である志野光子（しの みつこ）氏も同席しました。

ライズリー会長は基調講演で、次のように述べました。「ポリオ撲滅活動で私たちが学んだことは、多くの人々が一致団結して、問題を理解し、そのプロセスを理解し、リソースを結集し、影響力を強くし、計画を立て、目標を設定すれば、山をも動かすことができること。今こそ、行動を起こし、協力すべきときです」

#### 【選ばれた6人】

■ ジーン・ベストさん (Jean Best) : Kirkcudbrightロータリークラブ (スコットランド) 会員。争いを解決するスキルを10代の子どもに教え、子どもたちが学校や地元地域で平和関連の奉仕活動を立ち上げることを目的とした平和プロジェクトを実施。さらに、ブラッドフォード大学のロータリー平和フェローと協力してカリキュラムを作成したほか、地元ロータリー会員や平和フェローとともにオーストラリア、英国、メキシコ、スコットランド、米国に「peace hubs」(平和の拠点) を設立。

Cal Policy Center for Innovation and Entrepreneurshipでメンターとして活躍し、平和活動への寄付を通じてポール・ハリス・フェローとなっている。



■アン・フリッシュさん (Ann Frisch) : White Bear Lakeロータリークラブ (米国ミネソタ州) 会員。非武装の市民が紛争地域の人びとを守れると信じ、タイのロータリー会員と協力して2015年、バンコクおよびタイ南部のハートヤイとパターンニーに「Southern Thailand Peace Process」(タイ南部平和プロセス) 研修プログラムを設立。このプログラムでは、現地の電気・灌漑管轄局、赤十字スタッフ、仏僧、カトリック尼僧と協力し、タイ南部国境地域で「安全ゾーン (safe zone)」と呼ばれる地域をつくるために市民の研修に当たっている。家族や教師、地元当局役人が武装勢力の脅威におびえることのない地域づくりが行われている。

ジュネーブへの国連代表。非武装市民保護に関する初のマニュアルを共同執筆 (国連が推奨)。市民を母体とする平和プロセスに関するフリッシュさんの研修は、国連の全スタッフの研修を扱う部署である United Nations Institute for Training and Research により運営されている。

■サフィナ・ラーマンさん (Safina Rahman) : Dhaka Mahanagarロータリークラブ (バングラデシュ) 会員。バングラデシュの職場における女性の権利推進に尽力。衣類工場経営者として同国で初めて、女性従業員のための健康保険と産休制度を導入。平和のためのロータリアン行動グループと協力してバングラデシュで初の国際平和会議を開催。Bangladesh Garment Manufacturers and Exporters Association (バングラデシュ衣類製造・輸出協会) の方針作成に携わり、職場の安全と従業員の権利擁護に当たっているほか、女子教育と女性の権利の推進に力を入れている。

全生徒の62%が女子である6つの学校を設立し、基本的教育のほか、職業訓練、紛争予防、保健と衛生の授業が行われている。

■アレハンドロ・レイエス・ロザーノさん (Alejandro Reyes Lozano) : Bogotá Capitalロータリークラブ (コロンビア) 会員。ロータリーのグローバル補助金を活用して、中南米6カ国の27名の女性に対し平和構築、紛争解決、仲裁スキルの研修を実施。このプロジェクトは、女性たちが母国における争いや紛争の問題に取り組めるようにすることを目的とし、女性平和構築者の国際的ネットワークを築くことを目指している。弁護士であるロザーノさんは、コロンビアのフアン・マヌエル・サントス大統領の任命により、コロンビア革命軍との50年にわたる紛争の終結に向けた交渉と条件設定を行うチームの一員となっている。

■キラン・シラー (Kiran Sirah) さん : ノースカロライナ大学チャペルヒル校ロータリー平和センターの卒業生。米国テネシー州にあるInternational Storytelling Center (国際ストーリーテリングセンター) の所長。同センターは、平和構築のための手段としてストーリーテリング (ストーリーを語ること) を使い、すべての人が自分のストーリーを伝え、誰かのストーリーに耳を傾け、社会を変える手段としてストーリーテリングを用いることを推進している。

親がウガンダ難民であったシラーさんは、教育者、平和構築者、

学生、ボランティア、ビジネスリーダーのための無料のガイド「Telling Stories That Matter」(大切なストーリーを伝える) を制作。現在18カ国でこのガイドが使われている。

■テイラー・スティーブンソンさん (Taylor Stevenson) : 国際基督教大学 (日本) ロータリー平和センターの卒業生。インド、ブネのごみ収集者の衛生状況を改善するグローバル補助金プロジェクトを立案。毎日20トン分のむき出しの衛生廃棄物を扱うごみ収集者のために、SWaCH (ごみ収集者共同組合) と協力して「Red Dot」キャンペーンを創始。衛生廃棄物を新聞紙や袋に包んで赤い印 (Dot) をつけることを人びとに呼びかけている。このキャンペーンにより、ゴミ収集者は衛生廃棄物に直接触れることなく適切に仕分けできる。スティーブンソンさんはこのキャンペーンのための啓発用資料を作成したほか、無料の研修スペースや資料の印刷などの無償サービスを確認する上でも貢献。現在、世界平和指数 (Global Peace Index) の大使としても活躍している。

## 我が街「神奈川」散策 (第16回)

クラブ会報委員会

### ■宗興寺

宗興寺は、開塔山 (日輪院) と号し曹洞宗に属します。開港当時、アメリカ人宣教師で医者でもあったヘボンが、ここに施療所を開いていました。これを記念する石碑が境内に立てられています。ヘボンは後に明治学院を創設するなど、わが国の教育にも大きな功績を残しています。



◎12月29日 (金) 休会

◎1月5日 (金) 休会

次回〈1月12日〉の予定

新年挨拶

会長、副会長、幹事、会計